

ふじさわ市 議会だより

主 内 容

- 令和2年度予算審査のあらまし・議員全員協議会… 2面
- 予算に対する各会派の要望・意見… 3面
- 代表質問… 4～6面
- 常任委員会・特別委員会の動き… 7面
- 議案等審議結果一覧… 8面

No.237

発行 藤沢市議会 編集 広報広聴委員会 発行日 令和2年(2020年)4月25日
 ☎0466-50-3566(直通) FAX 0466-24-0123
 ホームページアドレス <http://shigikai.city.fujisawa.kanagawa.jp/>

2月定例会

子どもたちの教育環境を整備する

令和元年度藤沢市一般会計補正予算を可決

2月定例会は、2月26日から3月25日までの29日間にわたり開催され、市長から提出された令和2年度9会計予算をはじめ、「令和元年度藤沢市一般会計補正予算(第7号)」など33議案が可決、同意されました。

○令和元年度藤沢市一般会計補正予算(第7号)・(第8号)

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ40億2488万9千円(第7号)及び7256万4千円(第8号)を追加し、補正後の予算総額を157億8480万1千円とする。

主な補正内容は、次のとおり。
(第7号)
 ▼市民センター整備費1億2200万4千円
 土地開発公社が先行取得した片瀬市民センター第2駐車場用地を買戻すための経費。
 ▼平和基金積立金11235万円
 寄附金が当初見込みを上回ることから増額するもの。
 ▼災害復興基金積立金527万2千円
 寄附金等が当初見込みを上回ることから増額するもの。
 ▼高齢者いきいき交流事業費1503万2千円
 利用券の交付者数及び利用枚数が当初の見込みを上回ったため増額するもの。
 ▼ごみ減量推進事業費205万3千円
 指定収集袋の需要増加に伴い、製造・保管・配送業務委託料を増額するもの。
 ▼被災中小企業者復旧支援事業費1142万1千7百円

新入学児童生徒学用品費等分の国庫補助単価の増に伴い増額するもの。
(第8号)
 ▼ファミリー・サポート・センター事業費159万6千円
 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う小学校、幼稚園、保育施設等の臨時休業により、子どもの預け先として本事業を利用した際の利用料を補助するもの。
 ▼放課後児童健全育成事業費3476万8千円
 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う小学校の臨時休業により、午前中から開所した放課後児童クラブの運営費等を補助するもの。

この議案は、条例に基づく支援措置を受けるための要件となる固定資産の取得

この議案は、民法の一部が改正されたことに伴い、保証人が保証する極度額を定める等のため、条例の一部を改正するもの。

この議案は、民法の一部が改正されたことに伴い、保証人が保証する極度額を定める等のため、条例の一部を改正するもの。

この議案は、民法の一部が改正されたことに伴い、保証人が保証する極度額を定める等のため、条例の一部を改正するもの。

この議案は、民法の一部が改正されたことに伴い、保証人が保証する極度額を定める等のため、条例の一部を改正するもの。

この議案は、民法の一部が改正されたことに伴い、保証人が保証する極度額を定める等のため、条例の一部を改正するもの。

この議案は、民法の一部が改正されたことに伴い、保証人が保証する極度額を定める等のため、条例の一部を改正するもの。



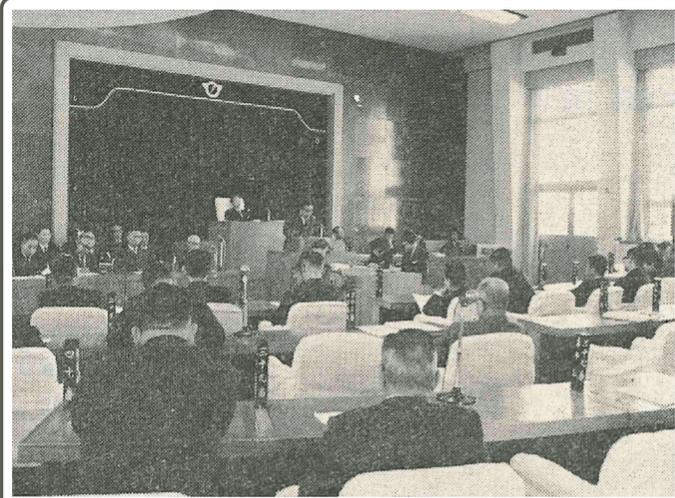
うららかな日差しの中、桜東風に誘われて湘南台境川沿い

台風第15号及び第19号により被災した中小企業・小規模企業等の建物・機械設備等の復旧を支援するための補助金を増額するもの。
 ▼教育情報機器関係費1億5893万円
 国の「GIGAスクール構想」に基づき、1人1台の学習用端末を整備するための経費。
 ▼要保護児童関係費493万円
 新入学児童生徒学用品費等分の国庫補助単価の増に伴い増額するもの。

この議案は、民法の一部が改正されたことに伴い、保証人が保証する極度額を定める等のため、条例の一部を改正するもの。

藤沢市議会史編さん事業 平成の歴史を後世に遺す

藤沢市議会では、市制・町村制施行以後、藤沢町会・市会・市議会と時代の変遷に従って展開された行政を背景に、議会活動・住民運動等を客観的に記述した藤沢市議会史を編さんしています。
 これまで、市制施行30周年と50周年の2度にわたり編さんされてきた歴史があり、本年10月に80周年を迎えるに当たり、平成元年から31年までの活動を中心に、市議会の事跡をまとめることとしました。
 昨年10月に設置した議会史編さん委員会での検討を基に、本年4月に開設した議会史編さん室で事業を進めることで、藤沢市議会の歴史を後世に遺していきます。



旧市役所本館の改修前の議場(昭和44年)＝市議会史から

議会の動き

- 【1月】
 - 20日 厚生環境常任委員会
 - 21日 子ども文教常任委員会
- 【2月】
 - 18日 議会運営委員会(第1日)
 - 20日 議会運営委員会(第2日)
 - 26日 議会運営委員会(第3日)
 - 27日 議会運営委員会(第4日)
 - 28日 議会運営委員会(第5日)
- 【3月】
 - 2日 厚生環境常任委員会
 - 3日 子ども文教常任委員会
 - 4日 議会運営委員会(第1日)
 - 5日 議会運営委員会(第2日)
 - 6日 議会運営委員会(第3日)
 - 9日 議会運営委員会(第4日)
 - 10日 議会運営委員会(第5日)
 - 11日 議会運営委員会(第6日)
 - 12日 議会運営委員会(第7日)
 - 13日 議会運営委員会(第8日)
 - 16日 議会運営委員会(第9日)
 - 17日 議会運営委員会(第10日)
 - 18日 議会運営委員会(第11日)
 - 19日 議会運営委員会(第12日)
 - 23日 議会運営委員会(第13日)
 - 24日 議会運営委員会(第14日)
 - 25日 議会運営委員会(第15日)

地方公務員法及び地方自治法の一部が改正され、会を廃止することから、当該計年度任用職員制度が導入されることを受け、非常勤(施行日)令和2年4月1日

令和2年度 予算 審査 のあらまし

令和2年度一般会計及び8特別会計予算(総額2,685億6,461万1千円)並びに議案第75号「藤沢市職員定数条例の一部改正について」ほか1議案、計11議案は、3月11日に設置された予算等特別委員会において9日間にわたり審査が行われました。その結果、3月25日の本会議で全て可決されました。ここでは、予算等特別委員会の審査の概要をお知らせします。

令和2年度予算等特別委員会委員

委員長	大矢 徹	副委員長	北橋 節男
委員	土屋 俊則	委員	山内 幹郎
〃	石井 世悟	〃	西 智
〃	安藤 好幸	〃	神尾 江里
〃	清水 竜太郎	〃	松長 由美
〃	友田 宗也	〃	杉原 栄子
〃	甘粕 和彦	〃	佐野 洋
〃	東木 久代	〃	武藤 正人

鵜沼海浜公園スケートパーク

民間資金を活用した新手法で再整備 利用の継続性と青少年の育成を図る

【質問】 鵜沼海浜公園スケートパークでは、Park-PFI(※)手法を活用した再整備を進めているが、事業者が工事費抑制のため、一気に工事を進めた場合、スケートボードやBMX等で利用している方に対する代替地の用意や、増設に関する考えはあるか。また、青少年の育成の観点から、利用料は値上げするべきでないかと考えるが、市の見解を聞きたい。

【回答】 Park-PFI手法では、現在、小中学生の入り込みが、地域の事情や当公園の特性等を踏まえ、事業者が決定した後も、現状を超えない範囲で適正な料金を設定していく。また、北部方面でもスケートボードが盛んなところがある。また、北部方面でもスケートボードが盛んなところがある。また、北部方面でもスケートボードが盛んなところがある。

農福連携の推進 多くの事業者と連携

【質問】 農福連携については、引き続きまちづくりパートナーシップ事業を活用し推進している。令和元年度は、農福連携を周知するためのオープン講座をFプレイス

福祉の側面だけでなく、農家の側面から見ても、担い手不足や遊休農地等の解消につながることを期待している。また、農家以外の法人や農協関係者等の協力を得ながら進めることも一つの方向性として考えている。また、本市が神奈川県との農福連携等マッチング支援事業

【質問】 農福連携については、引き続きまちづくりパートナーシップ事業を活用し推進している。令和元年度は、農福連携を周知するためのオープン講座をFプレイス

魅力的な特典の創出 クラウドファンディング 観光施設整備へ活用する

【質問】 観光案内サインの整備のため、令和元年度に実施したクラウドファンディングの結果と効果について聞きたい。

【回答】 観光案内サインの整備のため、令和元年度に実施したクラウドファンディングの結果と効果について聞きたい。

インダストリアルデザインだけでなく、観光施設等にも活用できることを考えている。また、令和元年度に実施したクラウドファンディングの結果と効果について聞きたい。

また、観光案内サイン以外に観光施設等へ活用する場合、市が管理運営し



農福連携の可能性を共に考える = Fプレイス

【質問】 就職氷河期世代に対する支援について聞きたい。

【回答】 就職氷河期世代に対する支援について聞きたい。

【質問】 乾燥標本室の分庁舎で公開を検討しているが、過去2回実施された自然環境実態調

【回答】 乾燥標本室の分庁舎で公開を検討しているが、過去2回実施された自然環境実態調

【質問】 植物の乾燥標本室の分庁舎で公開を検討しているが、過去2回実施された自然環境実態調

【回答】 植物の乾燥標本室の分庁舎で公開を検討しているが、過去2回実施された自然環境実態調

【質問】 植物の乾燥標本室の分庁舎で公開を検討しているが、過去2回実施された自然環境実態調

【回答】 植物の乾燥標本室の分庁舎で公開を検討しているが、過去2回実施された自然環境実態調

議員全員協議会を開催 市政運営の総合指針2020の 改定について報告

議員全員協議会は、3月6日に開催され、市政運営の総合指針2020の改定について報告を受けた。これに対し、質疑を行った。

〈市の説明〉

市政運営の総合指針は平成26年度からスタートし、29年度からは、現在の市政運営の総合指針2020を進めている。この総合指針の期間が令和2年度までであることから、改定作業に着手する。3年度からの4年間は、東京2020大会のレガシーを生かし、2025年問題の喫緊の課題として進めていく。

副市長に和田氏、宮治氏 教育長に岩本氏

人権擁護委員候補者の推薦等にも同意

【副市長の選任について】 令和2年3月31日をもって副市長の小野秀樹氏、宮治正志氏が任期満了となるため、次の二名を副市長に選任することについて、議会の同意を求めた。議会はこれに同意した。

【教育長の任命について】 令和2年3月31日をもって教育長の平石多恵子氏が任期満了となるため、議会はこれに同意した。

- ・青木格氏(新規推薦)
- ・個人情報保護審査委員の委嘱について
- ・人権擁護委員候補者の推薦について
- ・小澤弘子氏(再任)
- ・倉市在任
- ・酒井辰彦氏(新任)
- ・藤沢市在任
- ・篠崎百合子氏(再任)
- ・鎌倉市在任
- ・宮地基氏(新任)
- ・横濱市在任
- ・吉田眞次氏(再任)
- ・横濱市在任

(※) Park-PFI…飲食店や売店等の公園利用者の利便性向上に資する施設を設置し、その収益を活用して公園の整備・改修等を一体的に行う事業者を、公募により選定する制度。

予算に対する各会派の要望・意見

民主・無所属クラブ、市民クラブ藤沢、ふじさわ湘風会、藤沢市公明党及びアクティブ藤沢は全予算案に賛成し、日本共産党藤沢市議会議員団は令和2年度一般会計予算ほか5特別会計予算案に反対しました。ここでは、予算に対する各会派の要望・意見の要旨をお知らせいたします。

インクルーシブで持続可能な施策を 民主・無所属 クラブ 10人

①本市で宣言した「たった一人の市民であろうと誰も取り残さない」という目標を市や学校を挙げて追求すること。②ブラごみ削減は、市民にもコスト負担や不便さについて共有を得る必要があるため、市民とともに取組を進めること。③本市の持つフィールド等を民間に積極的に開放し、テックノロジー活用による社会課題へのアプローチの推進を。④市民会館再整備においては、会館の運営を担う職員の雇用について、

て、早急に関係団体と協議し、解決すること。⑤市民との合意形成は、デジタルガバナメントを活用し、本市が取り組んできたノウハウを生かし、発展させる仕組みの構築を。⑥福祉避難所の整備を進めると同時に、避難所自体のユニバーサル化も検討すること。⑦再犯防止等の観点から、更生保護の拠点として市役所分庁舎を活用し、加えて犯罪被害者と犯罪加害者家族への支援にも取り組むこと。⑧ストリートカルチャーやエクストリームスポーツの文化に携わる市民と協働連携し、環境の構築を。⑨ヘイトスピーチに対して当事者意識を持ち、藤沢の課題として一層の啓発を進めること。⑩障害者権利条約の「スロガン」私たち抜きに私たちのことを決めないで」を全ての政策立案の基本とする。⑪給付型奨学金制度は、国の制度にはない中退防止のためのアフターフォローなどを含め、一層の改善と拡充を。⑫教員不足に対処するため、働き方改革を一層進めるとともに、教職員定数改善等の抜本的な見直しを国に強く求めること。⑬特別支援学級の全校設置を急ぐとともに、医療的ケアの必要な子どもたちへの合理的配慮など、インクルーシブ教育を持続可能とする施策を。⑭保育士不足対策として、保育士の賃金・労働条件の改善と人材確保に引き続き取り組むこと。⑮子どもの居場所として大切な場所である少年の森の一層の施設改善と、市内全域における元気に外遊びができる場所の拡充を。⑯個人モデルではなく社会モデルの立場に立ち、誰一人取り残さない温かい地域共生社会の実現を目指すこと。⑰精神疾患のある親や外国につながる親を支えるヤングケアラーへの支援に取り組むこと。⑱いわゆるひきこもりの問題は、若年層だけを対象とせず、また、自立や就労支援に限定しない家族も含めた事業の展開を。⑲産後の母親の身体的回復と心理的安定を促進し、母親の自立した育児を支援する産後ケアシステムの早期の整備を。⑳本市の歴史的建造物は民間所有のものが多く、維持保全には限界があるため、実効性のある文化財保護政策を。㉑日常的にスケートボードが楽しめるプレイグラウンドを充実させ、愛好者のマナーアップと、競技力向上などを目指し、競技環境の発展に取り組むこと。㉒同性パートナーシップ制度の導入とともに、人権条例の制定も含め、誰もが自分らしく、ありのままに暮らせるまちづくりを。

問題点のある手当 廃止・削減の要望 市民クラブ藤沢 9人

①様々な問題点のある持ち家に係る職員の住居手当の廃止及び扶養手当の削減を。②ふるさと納税により流出した税金分を取り組めたはずの市民サービスについて、分かりやすい一例を税金の使い道と併せて広報し、全体的な納税意識の向上を。③避難施設運営訓練の実施などを行い、避難から支援までを考えた受援計画を策定すること。④脱炭素社会への取組は、先進都市に倣い気候非常事態宣言等、市民が一丸となる取組を示すこと。⑤緑地保全は、既存緑地を守るだけでなく、建物緑化助成制度のさらなる拡

充をすること。⑥藤沢駅北口の指定喫煙所は、簡易な囲いだけで煙が漏れているため、受動喫煙のない藤沢を目指し、場所を変更すること。⑦成年後見制度は、不安を抱える家族等が困り事を相談でき、支援を受ける手段をいしやすくするが、手続き等に時間がかかるため、その間の十分なケアをすること。⑧インクルーシブ教育として障がいのある幼児の保育園や幼稚園等への早期受入れと、各園への施設や対応に関する支援を。⑨保育士不足は、不足による損失を捉え、直接的な支援の効果を考え、他自治体に劣らない政策を。⑩3歳半検診で導入予定のスポットビジョンスクリーナーを最大限活用し、弱視の子どもの取りこぼさない

検査体制を構築すること。⑪子宮頸がんワクチンについては、接種するリスクとしないことによるリスクを医学的データに基づいて示し、保護者及び本人の意思による判断を促すこと。⑫高齢者等が対象の福祉大型ごみの収集運搬事業は、事情により搬出できない子育て世代においても利用ができるよう対応を。⑬障がい者の就労支援は、市が率先して雇用を行うとともに、経済団体等と連携したJOBチャレふじさわの推進を。⑭市内4大学の学生に、将来藤沢で起業、居住してもらえよう産業育成や定住支援を。⑮観光案内サインの整備は、令和2年度もクラウドファンディングを活用し、エリア拡大と他観光事業等への活用を。⑯教

不祥事防止対策 強化リーダーシップを 藤沢市公明党 5人

①概算要求時の収支乖離をなくすため、歳出は事業の先送りや需要見込の絞り込み、歳入は税収見込のさらなる絞り込みとともに、前年度の不用額と財政調整基金の活用により、予算編成がなされた。中長期の展望に立ち、先送りされた事業や市民への影響有無等の可視化を検討すること。②人口減少問題への取組と人口の微増状態を保っている他市をターゲットに、社会的要因や他

の取組を分析・評価し、本市の戦略を立てていくこと。また、住みやすさや魅力度も基軸に政策を実施すること。③国のGIGAスクール構想の対応として、令和4年度中にパソコン一台当たり児童生徒3.3人までの整備率とすること。また、高速大容量通信が可能となる整備の推進と、キャリアの5Gサービスやローカル5Gの活用も視野に計画的に進めること。④本市の学校教職員の働き方改革基本方針に、時間外労働の上限規制等の数値目標を明示するとともに、勤務実態を客観的に把握し、年次目標を立

生涯スポーツの発展 躍動的な取組を ふじさわ湘風会 7人

①人事評価の取組は、民間や先進自治体を参考に、多面評価を制度設計に導入すること。②事業の見直しに当たり、ステークホルダーに対する丁寧な説明と自ら身を切る姿勢を持ち、行財政改革に邁進すること。③市制の節

目は大事にし、市民に長きに親しまれる藤沢市であるよう、記念事業への取組を進めること。④本庁舎前へのキッチンカー導入の取組は、今後も実証実験を繰り返して、来庁者や職員の意見を取り入れ、本格導入に向けた推進を。⑤超高齢社会の進展を踏まえ、御所見地区が買物支援のモデルとなるよう、さらなる取組を。⑥市民センター・公民館

起きにくい職場環境を構築していくこと。また、組織の長が強いリーダーシップにより自ら先頭に立って信頼回復の行動を起こしていくことで、不祥事や不適切な事務処理ミスを起こしてはならないという意識を組織の隅々まで行き渡らせること。

税金の使い方を替え 福祉・暮らし優先に 日本共産党藤沢市 議会議員団 4人

①新型コロナウイルス対策については、人員、相談及び検査体制を拡充し、検査を受けられるようにすべき。②休校により影響を受けた給食調理業者とその労働者の実態をつかみ、補償すること。③国民健康保険は、保険料の負担軽減に努め、均等割の子ども分は、減免に踏み出すこと。④第8期介護保険事業計画策定に当たっては、特養ホームを整備し、介護人材の定着確保を一体と捉え、介護・高齢者福祉の充実を。⑤高齢者が気軽に外出し、社会参加ができるよう、新たな経済対策として、バス等助成制度の実施を。

⑥市営住宅の新規増設計画をつくり、安心できる居住環境の確保を自治体の責任で進めること。⑦ごみ袋の値段を当面、半額にし、市民とともにごみの減量・資源化・再利用を進めること。⑧待機児童解消策と一体で、保育士確保策と待遇改善に取り組むこと。⑨小児医療費助成制度は、所得制限を撤廃し、高校卒業まで拡充を。⑩学校給食は教育の観点からデリバリー方式を見直し、単独自校方式に切り替えるべき。⑪下水道使用料減免の廃止は市民から厳しい批判があることから、撤廃を。⑫期日前投票を市内全ての市民センター・公民館で実施すること。⑬村岡新駅建設など大型開発は中止し、税金の使い方を福祉・暮らし最優先に。

コロナ対応を機に 職員の意識改革を アクティブ藤沢 1人

①感染者の発表は、何のための会見か、今後に向けて総括が必要。②休校措置に対して、子どもたちに居場所や食事を提供する現場の人たちとパー

(※1) バックキャストリング…未来を予測する際、目標となるような状態を想定し、そこを起点に現在を振り返って今何をすべきかを考える方法。
(※2) BYOD…私物のパソコン・スマートフォンなどから企業の情報システムにアクセスし、業務で活用すること。

代表質問

主な質問と答弁

2月定例会では、「一般質問」(議員個人による市政全般に対する質問)に代えて、新年度の市長の施政方針や予算案等に対し、会派を代表した議員が「代表質問」を行い市政をチェックしています。今定例会の代表質問は、3月9日、10日、11日の3日間にわたって行われ、6名の質問者が、市長の政治姿勢などについて、市の考えをただしました。

新たな周知活動を実施

市長選挙の投票率上昇に寄与 効果的な選挙啓発を進める

【民主・無所属クラブ】 況について聞きたい。
【質問】 本年2月に実施された市長選挙の投票率上昇の要因について、選挙管理委員会の見解を聞きたい。
【答弁】 市長選の投票率上昇は、期日前投票者数が大幅に増加していることから、期日前投票の制度が広く周知され、投票当日に投票に行くことができない方の多くが、あらかじめ投票に関する意見を提言書としてまとめ、議長から市長、教育長、選挙管理委員会委員長に提出したが、対応状況を通じて啓発を行ったため、多くの選挙が行われ、年間投票を身近に感じる選挙啓発を進める



投票を身近に感じる選挙啓発を進める

会派別 代表質問項目

※多数会派順

民主・無所属クラブ

- 1 市長の政治姿勢について

市民クラブ藤沢

- 1 市長の政治姿勢について

ふじさわ湘風会

- 1 市長の政治姿勢について

藤沢市公明党

- 1 本市の財政状況
- 2 安全で安心な暮らしを築く
- 3 2020年に向けてまちの魅力を創出する
- 4 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる
- 5 健康で豊かな長寿社会をつくる
- 6 都市の機能と活力を高める

日本共産党藤沢市議会議員団

- 1 市民の子育て、福祉、くらしが最優先になる藤沢市政をつくることについて
- 2 憲法を市政に生かし、国県いなるの市政を切り替え、住民が主人公の市政にすることについて
- 3 税金の使い方を市民が望む福祉や暮らしの分野を優先にすることについて

アクティブ藤沢

- 1 市長の政治姿勢、サステイナブル藤沢、スマート藤沢、インクルーシブ藤沢で目指すまちづくりについて

多様な市民サービスに対応

ICT活用を推進

デジタル市役所の実現を目指す

【ふじさわ湘風会】 近年の技術進歩は目覚ましく、新技術の開発と実用化に向けた検討が進め

【質問】 これまで本市では、電子申請システムの導入やAI・RPA(※1)の実証実験への参加など、ICTを活用した行政サービスの取組を進めてきた。実施した実証実験の中で、業務効率化の有効性が確認された保育園の入所判定業務など

【答弁】 これまで本市では、電子申請システムの導入やAI・RPA(※1)の実証実験への参加など、ICTを活用した行政サービスの取組を進めてきた。実施した実証実験の中で、業務効率化の有効性が確認された保育園の入所判定業務など

【質問】 多くの費用を要する公共施設の再整備は本市の最大の長期的課題であり、危機感を市民と共有し、市政運営に努めていく必要があると考えるが、市民理解の進め方について、見解を聞きたい。あわせて、市民会館再整備は、藤沢駅周辺

【答弁】 多くの費用を要する公共施設の再整備は本市の最大の長期的課題であり、危機感を市民と共有し、市政運営に努めていく必要があると考えるが、市民理解の進め方について、見解を聞きたい。あわせて、市民会館再整備は、藤沢駅周辺

【質問】 多くの費用を要する公共施設の再整備は本市の最大の長期的課題であり、危機感を市民と共有し、市政運営に努めていく必要があると考えるが、市民理解の進め方について、見解を聞きたい。あわせて、市民会館再整備は、藤沢駅周辺



経済的視点での再整備が求められる = 藤沢市民会館

【質問】 訪日外国人観光客に向けた災害対策情報の発信

【答弁】 本市では昨年11月と本年1月に実施した津波対策避難行動訓練において、通常の放送に加え「やさしい英語」による試験放送を行い、現在、その結果を踏

【質問】 多くの費用を要する公共施設の再整備は本市の最大の長期的課題であり、危機感を市民と共有し、市政運営に努めていく必要があると考えるが、市民理解の進め方について、見解を聞きたい。あわせて、市民会館再整備は、藤沢駅周辺

【答弁】 多くの費用を要する公共施設の再整備は本市の最大の長期的課題であり、危機感を市民と共有し、市政運営に努めていく必要があると考えるが、市民理解の進め方について、見解を聞きたい。あわせて、市民会館再整備は、藤沢駅周辺

【質問】 多くの費用を要する公共施設の再整備は本市の最大の長期的課題であり、危機感を市民と共有し、市政運営に努めていく必要があると考えるが、市民理解の進め方について、見解を聞きたい。あわせて、市民会館再整備は、藤沢駅周辺



学生の市政参画の推進を図る = 大学生による政策提言の様子

(※1) RPA…これまで人間が手作業で行っていた、表計算ソフトやメールソフトなど複数のアプリケーションを使用する業務について、そのプロセスをロボットにより自動化すること。
 (※2) サウンディング調査…民間事業者との意見交換等を通し、事業に対して様々なアイデアや意見を把握する調査。

共生社会の実現

インクルーシブな地域づくりの推進
認知症フレンドリーなまちを目指す

(市民クラブ藤沢)

【質問】 少子超高齢化の進展に伴い、認知症患者が増加し、認知症対策が大きな課題となっている。本市においても認知症に優しい共生社会の実現に向け、さらに取り組んでいくべきと思うが、今後の展開について聞きたい。

【答弁】 藤沢おれんじプランでは「知る・集う・支える」をキーワードに、令和2年度は「知る」取組として、小中学生をはじめとした若い世代に認知症理解を一層広げていく。公共交通機関など、市民の暮らしを支える機関等と共に、さらなる周知・啓発に努めていく。

子育てに優しいまち
切れ目のない支援を

(ふじさわ湘風会)

【質問】 本市の未来を担う子どもたちのために産後ケアや病児保育、待機児童対策、放課後児童対策等の子育て支援はもろろんのこと、進学期や就職期に至るまでの

切れ目のない支援が必要と考えるが、市の見解と今後の方向性について聞きたい。

【答弁】 子育て政策として、誰一人取り残さない、温かい地域共生社会の実現に向け、子育てをする誰もが、子育てしやすいまちを実現できるように、子育て支援の視点と、親子の健康の視点を両面から展開していく。



認知症への理解が進む認知症カフェ

介護者を取り巻く課題
多様化するケアラーへの支援
支え合いの地域づくりを推進

(民主・無所属クラブ)

【質問】 家庭で介護をするために仕事を辞めざるを得ない「介護離職」、子どもや若

い人が家族を介護する「ヤングケアラー」など、介護する人を取り巻く課題が浮き彫りになってきているが、支援は全く十分とは言えない。このような状況について見解を聞きたい。

【答弁】 本市では、ケアを担う方の地域での孤立防止や、介護負担による虐待の予防を目的に、家族介護者教室などを開催してきた。さらに令和元年度はバックアップふじさわの相談支援員などを対象に、ヤングケアラーについての理解を深めるための意見交換会を実施し

とを踏まえ、若者が地域の拠点づくりに主体的に参加するなど、若者の意見提案が行政施策へ反映できる仕組みづくりにも取り組む。新たな子育て支援施策とともに、これまで築いてきた施策を推進することにより、子どもと若者が健やかに成長する子育てに優しいまちを目指していく。

健康寿命日本一
歩くをキーワードに

(市民クラブ藤沢)

【質問】 健康寿命日本一の取組は、総合指針2020に位置づけることで、リーディングプロジェクトとして重点的に進めてきたが、現状をどのように捉えているのか。また、庁内横断的な取組と併せて、その推進体制についても聞きたい。

【答弁】 本市の健康寿命日本一の取組の現状は、リーディングプロジェクト策定時に健康寿命の参考数値として記載している、神奈川県が算出した「65歳からの平均自立期間」の平成26年度と最新の28年度のデータを比較すると、男女とも伸びており、県内での順位も上昇している。これは健康増進計画の策定や健康都市宣言などをはじめとする、健康寿命の延伸に向けた様々な取組によるものと認識している。



身近な場所で受診しやすいマンモグラフィ検診車

女性のがん検診
環境整備に努める

(藤沢市公明党)

【質問】 女性のがん検診受診率向上について、国の検診では女性のライフステージを踏まえた対策や、検診を受けにくいと感じる様々なバリアやハードルを減らすための効果的な方法を検

討するべきとしている。休日検診やマンモグラフィ検診のさらなる充実などの取組が必要と考えるが、見解を聞きたい。

【答弁】 がん検診受診率の向上については、対象者に個別勧奨を実施しており、国の補助事業に基づき、乳がん検診では40歳を、子宮頸がん検診では20歳を対象として、無料クーポン券を配

気候変動対策
実行性のある取組を

(日本共産党藤沢市議会議員団)

【質問】 気候変動対策は喫緊の課題であり、神奈川県が気候非常事態宣言を受け、本市も宣言を行い、危機感を持って取り組むことが重要と考えるが、見解を聞きたい。また、今後の温室効果ガス削減の目標値を引き上げ、実効性のある取組が必要と考えるが、見解を聞

きたい。本市としては、県の気候非常事態宣言に賛同し、市民・企業など多様な主体と連携し、危機感を持って対策を進めていく。実行性のある取組として、基礎的取組では、エコライフアドバイザー派遣事業や国の補助制度を活用したクールチョイス啓発事業などを実施しており、今後も継続していく。

お知らせ
「ふじさわ市議会だより」は、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、会議録をご覧ください。
なお、会議録は、図書館、市民センター、公民館、市政情報コーナー(市役所本庁舎4階)、または市議会のホームページでご覧いただけます。2月定例会の会議録は5月下旬ころから閲覧できます。
また、目の不自由な方や読みづらい方のために、点字と声のふじさわ市議会だよりを発行していますので、ご希望の方は、議会事務局議事課までご連絡ください。

傍聴についてのお知らせ
閉会中に開催する諸会議及び6月定例会は、右の日程表のとおり開催する予定です。
なお、皆様の健康を守る観点から、新型コロナウイルス感染拡大の影響が収束されるまでの間、議会の傍聴はご遠慮いただいております。
本会議・常任委員会・特別委員会・陳情を審査する議会運営委員会はインターネット中継を行いますので、そちらをご視聴いただきますようお願いいたします。日時等についても変更になることがありますので、詳しい内容は下記へお問い合わせください。
また、平常どおり傍聴可能となった際は、ホームページ掲載等によりお知らせいたしますので、それまでの間、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
[問合せ] 議会事務局議事課
☎ 0466-50-3566 (直通) FAX 0466-24-0123
E メール fj-giji@city.fujisawa.lg.jp

閉会中に開催する諸会議

開催日	開催時刻	会議名
5月20日(水)	10:00	5月臨時会
5月22日(金)	13:00	災害対策等特別委員会(水防訓練現地視察)
5月25日(月)	9:30	藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会
6月 3日(水)	15:30	議会運営委員会
6月 4日(木)	9:30	災害対策等特別委員会

請願と陳情のご案内
6月定例会では、請願・陳情ともに6月3日(水)正午までに提出されたものを審査します。また、請願者と陳情者は、希望により委員会において趣旨説明(意見陳述)を行うことができます。
※提出方法については議会事務局議事課にお問い合わせください。

6月定例会

開催日	開催時刻	会議名
6月 8日(月)	10:00	本会議(議案の説明)
10日(水)	10:00	本会議(議案の審議など)
11日(木)	9:30	建設経済常任委員会
12日(金)	9:30	厚生環境常任委員会
15日(月)	9:30	子ども文教常任委員会
16日(火)	9:30	総務常任委員会
17日(水)	9:30	補正予算常任委員会
18日(木)	9:30	議会運営委員会
22日(月)	10:00	本会議(議決、一般質問など)
23日(火)	10:00	本会議(一般質問)
24日(水)	10:00	本会議(一般質問)
25日(木)	10:00	本会議(一般質問)
26日(金)	10:00	本会議(一般質問・議決など)

※各本会議の日には、9:30から議会運営委員会が開催されます。

代表質問

主な質問と答弁

コンパクト・プラス・ネットワーク

6つの都市拠点の形成・充実 住み続けたい都市を実現する

(ふじさわ湘風会)

質問 本市の都市としての活力を維持向上させる都市整備の取組について、藤沢駅周辺、辻堂駅周辺、湘南台駅周辺、健康と文化の森、片瀬・江の島及び村岡駅前周辺の6つの都市拠点を中心に、まちの整備をさらに進めるべきと考えるが、市の考え方と今後の方向性を聞きたい。

答弁 本市では、藤沢市都市マスタープランに6つの都市拠点を位置づけ、コンパクト・プラス・ネットワーク(※)の都市構造の形成を目指している。



藤沢らしさを未来につないでいく = 藤沢駅北口

都市基盤の再整備や新たなプロジェクトへの投資により、都市を刷新し続けること、本市が持続的に発展していく。

6つの都市拠点の形成充実に向け、まずは、藤沢駅周辺の再整備を進め、あわせて健康と文化の森や村岡駅前周辺の整備を着実に進めていく。

教職員の働き方改革 業務見直しを進める

(民主・無所属クラブ)

質問 公立の義務教育諸学校等の教職員の給与等に関する特別措置法給特法が改正され、教員の変形労働時間制が導入されたが、

繁忙期における長時間労働が追認されるとの懸念もある。国会における給特法の附帯決議も踏まえ、教職員の働き方改革にどのような取り組みが聞きたい。

令和元年度は、ICT機器の整備や文書の電子送達による業務改善、夏季学校業務停止期間の本格実施及び業務終了のガイダンス機能つき電話機設置などの取組を進めるとともに、グループウェアを活用した出勤勤管理による教職員の勤務時間把握を始めていく。

今後は、部活動指導員等の配置による人的支援や、教職員の適正化を進める。教職員自身が心身ともに健康で、生き生きと働ける環境を整備することにより、児童生徒としっかりと向き合うことができ、子どもたちの豊かな学びや健やかな成長に結びつくよう、働き方改革に取り組んでいく。

令和元年度は、ICT機器の整備や文書の電子送達による業務改善、夏季学校業務停止期間の本格実施及び業務終了のガイダンス機能つき電話機設置などの取組を進めるとともに、グループウェアを活用した出勤勤管理による教職員の勤務時間把握を始めていく。

今後は、部活動指導員等の配置による人的支援や、教職員の適正化を進める。教職員自身が心身ともに健康で、生き生きと働ける環境を整備することにより、児童生徒としっかりと向き合うことができ、子どもたちの豊かな学びや健やかな成長に結びつくよう、働き方改革に取り組んでいく。

令和元年度は、ICT機器の整備や文書の電子送達による業務改善、夏季学校業務停止期間の本格実施及び業務終了のガイダンス機能つき電話機設置などの取組を進めるとともに、グループウェアを活用した出勤勤管理による教職員の勤務時間把握を始めていく。

今後は、部活動指導員等の配置による人的支援や、教職員の適正化を進める。教職員自身が心身ともに健康で、生き生きと働ける環境を整備することにより、児童生徒としっかりと向き合うことができ、子どもたちの豊かな学びや健やかな成長に結びつくよう、働き方改革に取り組んでいく。

地域経済の担い手不足 市内中小企業等の振興 小規模事業者を重点に置き支援

(日本共産党藤沢市議会議員団)

質問 商店街の衰退等、地域の様々な経済活動の担い手不足が顕著になっている。小規模事業者の役割を再確認し、行政の責務を明確にした(仮称)中小企業振興条例を制定し、市内小規模事業者への支援策を強化することが必要と考える

が、市の見解を聞きたい。

本市の事業所の構成は、99%が中小企業であり、本市が将来にわたって持続的な発展を遂げるためにも、中小企業の振興は大変重要であると考えている。

現在、本市では、藤沢市市政運営の総合指針2020の理念や施策の方向性の共有を踏まえ、平成29年4月に見直しを行った藤沢市産業振興計画を基本とした取組を進めている。この計画においては、中小企業の発展のための総合的な支援を基本戦略の第一に据え、経済3団体との役割分担等を明確にするとともに、支援内容を体系的に整理した上で、特に小規模事業者に重点を置いた、実効性の高い支援に取り組んでいる。

今後は、令和元年の消費税率引上げをはじめとする、社会経済情勢の変化等に対応するために産業振興計画の改定を予定しており、2年度から関係団体とともに作業を進めていく。この計画に基づく経済施策を引き続き進めることで、市内中小企業や小規模事業者の振興を図っていく。

現在、本市では、藤沢市市政運営の総合指針2020の理念や施策の方向性の共有を踏まえ、平成29年4月に見直しを行った藤沢市産業振興計画を基本とした取組を進めている。この計画においては、中小企業の発展のための総合的な支援を基本戦略の第一に据え、経済3団体との役割分担等を明確にするとともに、支援内容を体系的に整理した上で、特に小規模事業者に重点を置いた、実効性の高い支援に取り組んでいる。

今後は、令和元年の消費税率引上げをはじめとする、社会経済情勢の変化等に対応するために産業振興計画の改定を予定しており、2年度から関係団体とともに作業を進めていく。この計画に基づく経済施策を引き続き進めることで、市内中小企業や小規模事業者の振興を図っていく。

今後は、令和元年の消費税率引上げをはじめとする、社会経済情勢の変化等に対応するために産業振興計画の改定を予定しており、2年度から関係団体とともに作業を進めていく。この計画に基づく経済施策を引き続き進めることで、市内中小企業や小規模事業者の振興を図っていく。

スポーツ都市宣言 市民の意見を反映

(市民クラブ藤沢)

質問 東京2020オリンピックのまちづくりを進めていくべきと考えるが、本市のスポーツ都市宣言の制定に向けた現在の状況やスケジュールについて聞きたい。

宣言の制定は、令和2年度施政方針にあるとおり、生涯スポーツ活動のさらなる推進を目標に掲げ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガ

のまちづくりを進めていくべきと考えるが、本市のスポーツ都市宣言の制定に向けた現在の状況やスケジュールについて聞きたい。

宣言の制定は、令和2年度施政方針にあるとおり、生涯スポーツ活動のさらなる推進を目標に掲げ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガ

のまちづくりを進めていくべきと考えるが、本市のスポーツ都市宣言の制定に向けた現在の状況やスケジュールについて聞きたい。

宣言の制定は、令和2年度施政方針にあるとおり、生涯スポーツ活動のさらなる推進を目標に掲げ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガ



市民の生涯スポーツ活動をさらに推し進める

保育士不足への対応 働きやすい環境を つくる

(アクトイブ藤沢)

質問 本市の保育士不足の課題解消に向け、働きやすい環境をどのように確保していくのか聞きたい。

本市では、各保育施設において保育士不足が続いていることから、保育士への様々な支援事業を行い、その解消に取り組んでいる。一方で、職場での業務負担等、相談者の希望や状況等に合わせた対応を行っている。

また、面談の実施や現場確認等、相談者の希望や状況等に合わせた対応を行っている。

本市では、各保育施設において保育士不足が続いていることから、保育士への様々な支援事業を行い、その解消に取り組んでいる。一方で、職場での業務負担等、相談者の希望や状況等に合わせた対応を行っている。

また、面談の実施や現場確認等、相談者の希望や状況等に合わせた対応を行っている。

また、面談の実施や現場確認等、相談者の希望や状況等に合わせた対応を行っている。

雨水管理総合計画 大雨に強いまちに

(藤沢市公明党)

質問 局地的な大雨が頻発し、浸水被害による市民生活等への影響が問題となっているが、藤沢市雨水管理総合計画の策定に当たり、ソフト・ハード両面の対策を計画にどのように盛り込んでいくのか。また、計画策定後はどのように取り組むのか、得られる効果も含めて市の考えを聞きたい。

現在、浸水被害予測として、浸水シミュレーションを活用し、市民の意見を踏まえた内水浸水想定区域の作成を進めている。

ソフト対策としては、防災部局と連携し、避難訓練で想定区域を活用するなど、市民の自助・共助を効果的に促進していく。ハード対策は、浸水シミュレーションを活用し、要因分析の上、浸水危険度や被害影響度を踏まえた対策優先度を設定してきた。現在は、地域に応じた段階的対策方針の検討を進めており、令和2年度に、本方針に基づく実施時期や場所を網羅した段階的対策計画を策定し、雨水管理方針マップとして図画し、取りまとめたい。

今後は、これらのマップを、対策事業の進捗等に合

今後は、これらのマップを、対策事業の進捗等に合



局地的な大雨による浸水被害への対策が求められる

(※) コンパクト・プラス・ネットワーク…人口減少・高齢化が進む社会で、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確認し、地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりを進めること。

常任委員会 特別委員会の動き

パートナリシップ制度を検討 自分らしい生き方ができる社会を目指す

総務

総務常任委員会は、3月4日に開催され、議案3件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきものと決定した。

また、①市職員の不祥事に係る経過②パートナリシップ制度導入③市税等の納付環境の拡大に向けた取組④藤沢市国民保護計画の変更⑤郷土づくり推進会議の今後のあり方⑥藤沢市南消防署本町出張所(第9分団器具置場)再整備事業―以上6件について報告を受けた。

パートナリシップ制度は、平成27年度に東京都渋谷区で初めて導入されており、この制度は、法律上の婚姻とは異なり、法的な権利や義務が発生するものではない。2者間の自由な意思により、互いを人生のパートナーとして支え合い、協力し合うことを約束した関係であることを行政が確認し、公的に認めるものとなる。他の自治体において

は、パートナリシップ証明書を提示することにより、市営住宅の入居申込みや、市税の証明書について親族と同様の申請を可能としている例がある。

本市においては、外部の委員で組織するふじさわ人権協議会において、意見を伺ったところ、賛成意見はあった一方、反対意見はなかった。そして、令和2年2月18日開催のふじさわ男女共同参画推進協議会では、次期プラン策定に向けて、同性カップルをバ

ートナーとして認知する仕組みの導入を求める意見提案が、協議会の会長から市長宛てにされている。これらのことから、本市においても、藤沢市人権施策推進指針の基本理念に基づき、全ての市民が互いの人権を尊重し、セクシュアル・マイノリティをはじめとする多様性への理解が進み、差別や偏見のない、自分らしい生き方ができる社会の実現を目指し、パートナリシップ制度導入に向けて検討を開始する。

制度の内容については、パートナリの要件や対象年齢・住所等の要件、申請方法や発行する証明書の内容・形式及び証明書を提示することにより利用できる行政サービスについて、それぞれ検討していく。

導入に向けた今後のスケジュールとしては、まず要綱等の素案を作成し、関係課や関係審議会等からの意見聴取、協議等を行いながら、2年8月頃までには制

度の概要とその考え方に付いて、取りまとめしていく。その後、パブリックコメントを実施し、2年12月市議会定例会において制度実

施について報告した後、関係機関への制度の周知や依頼等を行いながら、3年4月に制度を施行するスケジュールを考えている。

大庭台墓園の墓地不足解消 立体墓地等の再整備を計画

厚生環境

厚生環境常任委員会は、1月20日と3月2日に開催された。

1月20日の委員会では、湘南ヘルスイノベーションパークの視察を行った。

3月2日の委員会では、陳情1件を審査した。その結果、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①藤沢市公共施設等における受動喫煙防止を推進するためのガイドラインの改定②元気ふじさわ健康プラン藤沢市健康増進計画(第2次)中間評価③第3次藤沢市食育推進計画(生涯健康ふじさわ食育プラン)の策定④介護保険課「窓口業務のあり方の検

討」結果等⑤大庭台墓園立体墓地等の再整備に向けた取組⑥藤沢市地域包括ケアシステムの推進⑦環境事業センター整備事業の進捗状況⑧「ペットボトル」と「かなべ類」の夏期毎週回収性―以上8件について報告を受けた。

大庭台墓園は、昭和45年の供用開始以来、約50年にわたり市民の墓地需要にこたえているが、多死社会の到来や墓じまいの増加に伴う墓地の移設等により墓地不

足が危惧されるため、今後の立体墓地等の再整備に向けた取組について報告する。墓地利用状況として、大庭台墓園には、平面墓地と立体墓地がある。平面墓地は、2万6367区画あり、平成6年度に随時募集を終了した。その後、7年度に現在の立体墓地を新設し、普通納骨壇及び集合納骨壇を整備した。また、17年度には新たに合葬納骨壇を整備するなど、順次、建物内の納骨壇を増設し、29年度をもって、普通納骨壇3884区画、集合納骨壇816区画、合葬納骨壇6272区画の整備を完了した。2区画の整備を完了した。立体墓地内納骨壇の貸付見込みについては、早ければ、令和4年度以降に墓所の不足が見込まれる。また、合葬納骨壇については、使用期間を20年と規定していることから、収蔵している遺骨を別に納める施設である合葬墓を、7年度までに新設する必要がある。これらことから、現在の建物

の西側に新たな建物の建設を計画し、墓地不足の解消を図る。

立体墓地の現在の建物については、平成2年度に策定した大庭台墓園立体墓地基本計画基本設計における前期計画に基づき建設されており、その後期計画の中では、現在の建物の西側に連続する新建物の建設を計画していた。しかし、合葬納骨壇及び合葬墓が想定されていなかったこと、一部現状に即していないことから、今後の墓地需要動向等を踏まえ、立体墓地の施設規模や、新設する合葬墓の規模・仕様等について、新たに基本構想を策定していく。

今後の取組として、立体墓地等の再整備については、3月5日と25日に開催された。

3月5日の委員会では、議案8件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきものと決定した。

3月25日の委員会では、議案1件を審査した。その結果、議案は可決すべきものと決定した。

多目的な利用を目指す (仮称)藤沢市藤沢駅前広場条例

建設経済

建設経済常任委員会は、2月28日に開催され、議案4件、請願1件、陳情2件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、請願は不採択すべきもの、陳情は全て趣旨不承と決定した。

また、①(仮称)藤沢市藤沢駅前広場条例(素案)②藤沢市道路ストックマネジメント計画(素案)―以上2件について報告を受けた。

(仮称)藤沢市藤沢駅前広場条例(素案)については、藤沢駅周辺地区は、これまでの整備だけでなく、にぎわいの創出など、ソフト面への取組も不可欠であることから、条例を制定することで、より使いやすく、多

目的な利用が可能となることを目指している。

今回報告する素案は、9つの項目で構成している。まず、条例の目的として、藤沢・湘南の玄関口に位置する藤沢駅周辺地区において、市民や来街者の、憩いや交流の場の提供及び本市の魅力発信することにより、付加価値を高める役割を果たすことを目的と定める。

次に、広場の利用については、条例の規定により使用を承認した場合及び管理運営上必要がある場合を除く例の施行は、3年4月を予定している。

また、利用料金、禁止する行為、指定管理者による管理についてなど6項目を定めている。

今後は、令和2年3月から4月にかけてパブリックコメントを実施し、2年6月市議会定例会に条例案の提案を予定している。また、条例の施行は、3年4月を予定している。

子ども文教常任委員会は、1月21日と3月3日に開催された。

1月21日の委員会では、藤沢市八ヶ岳野外体験教室の視察を行った。

3月3日の委員会では、陳情1件を審査した。その結果、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画ことなく、大学等での修学機会が得られるよう、藤沢

市給付型奨学金制度を実施している。

令和2年4月から、国における高等教育の修学支援新制度が開始され、低所得世帯の高等教育進学への支援が充実する。しかし、所得によって、国の奨学金制度だけでは学費を十分に補うことができない世帯があるため、本市の奨学金について一部見直しを行い、対象として支援する。

本事業の周知については、2年度に、本市ホームページや広報ふじさわへの掲載、市内及び近隣の高校等へのチラシの配布などを予定

している。

また、ひとり親家庭については、合計所得250万円未満の世帯まで対象となるよう拡充する。また、給付人数については、現行の3人から6人程度に拡大する。令和元年度までに採用された奨学生については、国の奨学金制度により授業料等の減免が適用される場合には、減免後の授業料等を対象として支援する。

令和2年度に、本市ホームページや広報ふじさわへの掲載、市内及び近隣の高校等へのチラシの配布などを予定している。

また、ひとり親家庭については、合計所得250万円未満の世帯まで対象となるよう拡充する。また、給付人数については、現行の3人から6人程度に拡大する。令和元年度までに採用された奨学生については、国の奨学金制度により授業料等の減免が適用される場合には、減免後の授業料等を対象として支援する。

令和2年度に、本市ホームページや広報ふじさわへの掲載、市内及び近隣の高校等へのチラシの配布などを

議案等審議結果一覧

○：賛成 ×：反対
 △：賛否が分かれる
 -：陳情を審査する委員会(付託委員会)への委員の選出なし

番号	件名	結果 年月日	各会派の賛否					
			民無ク	市民ク	湘風会	公明党	共産党	アクテ
市長提出								
71	工事請負契約の変更契約の締結について(藤沢駅北口交通広場再整備工事) 付託せず	可決 2.2.27	○	○	○	○	○	○
72	市道の認定について(片瀬417号線ほか10路線) 建設経済	可決 2.3.9	○	○	○	○	○	○
73	市道の廃止について(片瀬324号線ほか3路線) 建設経済	可決 2.3.9	○	○	○	○	○	○
74	指定管理者の指定について(片瀬江ノ島駅第1自転車駐車場) 付託せず	可決 2.2.27	○	○	○	○	○	○
75	藤沢市職員定数条例の一部改正について 予算等	可決 2.3.25	○	○	○	○	○	○
76	藤沢市議会の議員その他非常勤等の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について 総務	可決 2.3.9	○	○	○	○	○	○
77	藤沢市非常勤職員の報酬等に関する条例の一部改正について 予算等	可決 2.3.25	○	○	○	○	○	○
78	藤沢市一般職員の給与に関する条例の一部改正について 総務	可決 2.3.9	○	○	○	○	○	○
79	藤沢市手数料条例の一部改正について 総務	可決 2.3.9	○	○	○	○	×	○
80	藤沢市建築基準等に関する条例の一部改正について 付託せず	可決 2.2.27	○	○	○	○	○	○
81	藤沢市市営住宅条例の一部改正について 建設経済	可決 2.3.9	○	○	○	○	×	○
82	藤沢市食品衛生法の施行に関する条例の一部改正について 付託せず	可決 2.2.27	○	○	○	○	○	○
83	藤沢市企業立地等の促進のための支援措置に関する条例の一部改正について 建設経済	可決 2.3.9	○	○	○	○	○	○
84	令和元年度藤沢市一般会計補正予算(第7号) 補正予算	可決 2.3.9	○	○	○	○	×	○
85	令和元年度藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計補正予算(第3号) 補正予算	可決 2.3.9	○	○	○	○	×	○
86	令和元年度藤沢市墓園事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算	可決 2.3.9	○	○	○	○	○	○
87	令和元年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算	可決 2.3.9	○	○	○	○	×	○
88	令和元年度藤沢市介護保険事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算	可決 2.3.9	○	○	○	○	×	○
89	令和元年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計補正予算(第2号) 補正予算	可決 2.3.9	○	○	○	○	×	○
90	令和元年度藤沢市下水道事業費特別会計補正予算(第2号) 補正予算	可決 2.3.9	○	○	○	○	×	○
91	令和元年度藤沢市民病院事業会計補正予算(第2号) 補正予算	可決 2.3.9	○	○	○	○	○	○
92	令和2年度藤沢市一般会計予算 予算等	可決 2.3.25	○	○	○	○	×	○
93	令和2年度藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計予算 予算等	可決 2.3.25	○	○	○	○	×	○
94	令和2年度藤沢市墓園事業費特別会計予算 予算等	可決 2.3.25	○	○	○	○	○	○
95	令和2年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計予算 予算等	可決 2.3.25	○	○	○	○	×	○

番号	件名	結果 年月日	各会派の賛否					
			民無ク	市民ク	湘風会	公明党	共産党	アクテ
96	令和2年度藤沢市湘南台駐車場事業費特別会計予算 予算等	可決 2.3.25	○	○	○	○	○	○
97	令和2年度藤沢市介護保険事業費特別会計予算 予算等	可決 2.3.25	○	○	○	○	×	○
98	令和2年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計予算 予算等	可決 2.3.25	○	○	○	○	×	○
99	令和2年度藤沢市下水道事業費特別会計予算 予算等	可決 2.3.25	○	○	○	○	×	○
100	令和2年度藤沢市民病院事業会計予算 予算等	可決 2.3.25	○	○	○	○	○	○
101	令和元年度藤沢市一般会計補正予算(第8号) 補正予算	可決 2.3.25	○	○	○	○	○	○
102	副市長の選任について 付託せず	同意 2.3.25	○	○	○	○	○	○
103	教育長の任命について 付託せず	同意 2.3.25	○	○	○	○	○	○

請願								
4	種苗法改定に関する請願 建設経済	不採択 2.3.9	○	×	×	×	○	○

陳情								
23	統合失調症などメンタルヘルスに関する研究費増額についての陳情 厚生環境	趣旨不承 2.3.2	×	×	×	×	○	○
24	癌を発症し、勤め先を辞めた人、解雇された人に対する再就労対策を要望する陳情 建設経済	趣旨不承 2.2.28	×	○	×	×	○	-
25	広場条例についての陳情 建設経済	趣旨不承 2.2.28	×	×	×	×	○	-
26	議会史編纂事業に関する予算計上を取り止めることを求める陳情 議会運営	趣旨不承 2.3.6	×	×	×	×	×	-
27	旧藤沢公民館についての陳情 子ども文教	趣旨不承 2.3.3	×	×	×	×	×	-
28	当市の議会提案/請願/陳情書提出手続きのICT活用に関する陳情 議会運営	趣旨不承 2.3.6	×	×	×	×	×	-

会派名	省略表示	所属議員			
民主・無所属クラブ(10)	民無ク	安藤好幸 友田宗也 竹村雅夫	神尾江里 大矢 徹 有賀正義	谷津英美 永井 譲	清水竜太郎 柳田秀憲
市民クラブ藤沢(9)	市民ク	石井世悟 栗原貴司 井上裕介	西 智 松長由美絵	桜井直人 北橋節男	佐賀和樹 山口政哉
ふじさわ湘風会(7)	湘風会	杉原栄子 吉田淳基	甘粕和彦 神村健太郎	佐野 洋 加藤 一	堺 英明
藤沢市公明党(5)	公明党	平川和美 松下賢一郎	東木久代	武藤正人	塚本昌紀
日本共産党藤沢市議会議員団(4)	共産党	土屋俊則	味村耕太郎	山内幹郎	柳沢潤次
アクティブ藤沢(1)	アクテ	原田 建			

※ () 内の数字は会派内の人数、下線は会派代表者、会派内の氏名は議席番号順